

# 神戸新聞

発行所 神戸新聞社  
郵便番号 650-8571  
神戸市中央区東川崎町 1-5-7  
http://www.kobe-np.co.jp/  
電話 (078) 362局  
社会部 7040 映像写真部 7047  
経済部 7094 販売局 7066  
運動部 7095 営業局 7081  
文化 7044 地域 7086  
生活部 7045 活動局  
ご意見ご質問は読者センター  
078・362・7056  
(月～土 10:00～17:30)

浮世あられ  
神戸元町 花見屋  
神戸市中央区元町通2丁目6番6号  
TEL (078) 333-2111  
FAX (078) 333-2111  
http://hanamiya.co.jp

購読のお申し込み  
0120・16・8349  
月～土 9:30～19:00  
日・祝 9:30～17:30

- ### きょうの紙面
- 2 国会冒頭の政倫審出席要請
  - 3 主要企業、既卒と新卒区別せず
  - 9 日航、更生法申請から1年
  - 24 新幹線トラブルは処理能力超過
  - 25 番組転送は著作権侵害―最高裁

### 青空主義

18 フランスの  
ガトー・バスク



- ### 特集
- 4 読者の報道写真コンテスト
  - 7 国際 イラク警察関係者狙いテロ42人死亡
  - 11 ペット 高齢犬の寝たきり予防
  - 15 放送演芸 横沢彪さんをしのぶ
  - 17 商況 BS・ラジオ
  - 13 囲碁・将棋
  - 15 小説 親鸞・激動篇

### 社説

5 経団連指針 チュニジア

### 日の出みりん

http://www.hinode-mirin.co.jp/

### きょうの天気

兵庫南部	西の風	波高1.5m
兵庫北部	西の風	波高2.5m

6時	9時	12時	15時	18時	21時	24時	気温
神	戸	10	20	10	10	10	8.2

冬型の気圧配置が  
兵庫の北部では雪が  
降りそうです。しょう。

## 性同一性障害の小6男児

# 抗ホルモン剤を投与へ

## 思春期の体の変化抑止

大阪医科大ジェンダークリニック＝大阪府高槻市＝は18日、心と体の性が異なる性同一性障害（GID）のため、女児として小学校に通学する兵庫県播磨地方の6年生の男児（12）に対し、中学校進学を前に「抗ホルモン剤」を定期的に投与し、思春期の体の変化を一時的に止める治療を始めることを決めた。GID学会理事長の中塚幹也岡山大学教授によると、医療機関が小児GID患者に同剤を投与するのは全国初という。

## 大阪医科大 小児で全国初

男児とその保護者はこの日、大阪医科大付属病院で副作用などの説明を聞いた上で同意、2月にも治療は始まる。精神科も治療が協力して月1と小児科が協力して月1回注射する予定で、健康

保険の適用外のため費用は1回約3万5千円となる見込み。

同クリニックの康純・精神科准教授は、男児を著しくなる「第2次性徴」が始まっていることを確認した。

前と比べて男性ホルモンの濃度が倍増したため、泌尿器科の協力を得て、男女ごとの特徴が、その上位組織の大学倫理委員会で方針が承認された。

男児は地元教育委員会の配慮で、小学校の出席簿やトイレなどは女児扱いで、水泳には女児用水着で参加してきた。教委はこの春進学する中学校でも女子として受け入れることを決めているが、男児らの話では、高学年になると成長に伴うトラブルも起き始めていると、低年齢で第2次性徴が始まる「思春期早発症」でも使われているが、重篤な副作用の報告は少ない。

同クリニックによると、投与する抗ホルモン剤「LHRHアナログ」は、国内的に男性ホルモ



性同一性障害の男児に対し、抗ホルモン剤治療を始めることを決めた大阪医科大付属病院＝18日午前、大阪府高槻市（撮影・笠原次郎）

抗ホルモン剤ホルモンの働きを妨げる効果のある薬剤。今回投与される「LHRHアナログ」は、脳にある内分泌器官で精巣や卵巣に指令を与える「下垂体」に作用し、性ホルモンの生成や分泌を抑えることができる。その結果、男性ではひげが濃くなったり声変わりしたりせず、女性では月経や乳房の発育が止まるなど、第2次性徴も進まない。

報告例はあるが、中学生以下では例がないという。女子高校生は自殺未遂を繰り返していたという。

(電見真一郎)

## 兵庫県内 消防水利

### 阪神・淡路 水道

兵庫県の消防水利は、約13万7004カ所、震災前（1994年4月）の8万6081カ所から、

## 就職内定率最悪 8.8%

の割合を調査した。大学生の男子は、前年同期比で2.9%減の70.1%、女子は5.8%減の69.4%。前年同期比0.4%増の70.8%。

文・理ともに過去最低。全国を六つに分けた地域別では、北海道・東北69.1%、関東甲信越70.8%、中部70.8%、近畿70.8%、中国70.8%、四国70.8%、九州70.8%。